**投稿論文チェック表**

投稿する前に，以下の項目に沿って原稿を点検確認してください.電子投稿査読システムで論文を投稿するときに，追加投稿情報の項目で入力が必要となります．

□筆頭著者は本学会の会員である．

□原稿の内容はがん看護と関連があり，他誌に発表・投稿されていない．

＜投稿時に必要な項目・書類＞

□投稿に必要な以下の項目を準備している．

□ 標題（和文，英文）

□ 筆頭著者に関する情報

□ 著者名および会員番号

□ 所属機関名

□ 連絡先の住所

□ メールアドレス

　□ 共著者に関する情報

□ 著者名

□ 所属機関名

□ 論文種別

□ 原稿の文字数

□ 図，表，写真などの枚数

□ 3～5 語のキーワード（和文，英文）

□ 原著の場合は，400～600 字程度の和文抄録と 300 words程度の英文抄録．

□投稿に必要な以下の書類を準備している．

□ 「倫理審査承認書」

　　倫理審査承認書の研究課題名と投稿論文の研究課題名が異なる場合は，その理由を電子投稿・査読システムの追加投稿情報の所定の項目に記載する．

□ 「様式2-①：学会誌発表利益相反事項届出書（各著者用）」

電子投稿・査読システムにアップロードする際には著者全員分（筆頭著者ならびに共著者）をアップロードする．なお，著者が個々で提出する場合は編集委員長あてに各自で郵送する．

□ 「様式2-②：学会誌発表利益相反事項届出書」

□ 「著者の役割記載書」

記載にあたっては，筆頭著者が著者全員の貢献内容を1枚の用紙に列記する．

□ 「論文投稿における不正行為防止に関する誓約書」

□ 本文（投稿する論文原稿には表紙を付けない）

□ 図，表，写真など

＜執筆に関して＞

□ 原稿枚数は希望する論文種別の規定枚数の範囲内である．

□ 原著及び実践報告の場合は，論文構成（緒言・目的・方法・結果・考察・看護への示唆及び結論などを含む）に基づいた内容でまとめられている．

□ A4 版横書きで,1 行の文字数は 35 字，1 ページの行数は 28 行としている．

□ 本文の各ページの中央下に頁数が記入してある．

□ 数字および英字は半角となっている．

□ 外来語と外国人名は原語，薬品名は一般名を用いている（外国語で一般に日本語化しているものは片仮名を用いてもよい）

□ 略語は，初出時に完全な用語を用い，以下に略語を使用することを書いてある．

□ 図，表，および写真は，図 1，表 1，写真 1 などの番号をつけ，1 ページ 1 枚に作成し，本文とは別に準備している．

□ 原稿右欄外等にそれぞれ図，表，写真挿入希望位置を指定している．

□ 本文，引用文献，謝辞，付記および抄録（和文・英文）から，氏名，所属ほか投稿者を特定できる事項を削除している．

□ 文献の引用では，引用部分の最後の右肩に引用順に番号を付けている．

□ 文献リストは，本文の最後に一括して引用順に番号を付けて記載している．

□ 文献の記載方法は投稿規程に従っている．

□ 引用文献の表記は正しく記載されている.

□ 誤字・脱字，文章表現上の問題がない．

＜倫理的配慮・利益相反＞

□ 倫理的配慮を要する論文はその内容を記載している．受審した倫理審査委員会名・承認番号は空欄等にしている

□ 使用許諾が必要な尺度等を使用・改変した場合は，使用許諾を得たことを記載している

□ データを二次利用した場合は，そのことを記載し，また，二次利用の根拠を明確に記載している

□ 研究の実施において資金の助成を受けた場合は，それを謝辞の欄に記載している（助成をうけた組織名等は空欄等にしている）

□ 謝辞の欄のつぎに,利益相反の欄を設けて記載している.

□ 大学の学位論文（一部を含む）を投稿している場合は，付記の欄を設けてそのことを記載している（大学名等は空欄等にしている）

□　学術集会等での発表や事業報告書等において，投稿論文の内容の一部もしくは概要を公表している場合は，付記の欄を設けてそのことを記載している（学術集会名や報告書を提出した組織名等は空欄等にしている）